

“ 運行管理者の その一声で 無事故で新年 ”

## ～ 錯視・錯覚を理解し 安全確認励行 ～

人間は、目からの情報を脳で判断し動作として指令します。誤った情報だと指令も誤ります。情報キャッチの段階で錯視・錯覚を修正しておくことが大切です。

ドライバーの安全運転を高めるためにも、運行管理に当たる皆さんから、錯視・錯覚しやすい事例等をアドバイスの“一声”として与えていただき、全員が無事故で明るい新年を迎えられますようご配慮をお願いします。

本年 1 年間、無事故にご協力いただきありがとうございました。

### < 錯視・錯誤の事例と対策 >

**尾灯の汚れは、夜間に追突を招きやすい**

～ 尾灯は明るいほど「近い」と感じ、暗いと「遠い」と感じさせる。

夜間、追突されないためにも、尾灯は綺麗に拭いておく。

**山が近づくと、前車が遠くに見える**

～ 走行中、富士山等の山が何となく迫ってきたと感じたら、直ぐ目をそらし注視点を戻す。

**通り慣れた下り坂やカーブを「急」と感じる**

～ 運転中、何となく違和感を感じたら運転姿勢をチェックする。

**前車に速度を合わせて追従すると、意識レベルが低下する**

～ 車線内で走行位置を多少ずらし、意識的に前方に目を向ける。

**トラックやバッテリーの盗難にご注意を！**

今月になって当組合員の大型ダンプ(相模原市内)、3tトラック(平塚市内)やバッテリー(厚木市内)の盗難事故が発生しています。ひと気のない暗闇の駐車場で発生しています。防犯対策をよろしくをお願いします。